

事務事業名	地域福祉計画策定・進行管理事業		所属部局	保健福祉部	単位番号	5001				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	福祉総合相談課	課長名	小林 徳男				
			所属担当	地域福祉担当	担当者名	土屋 千恵美				
基本政策	基本計画体系	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	17	社会福祉の充実	01	一般	03	01	01	020	03	
施策	27	地域福祉の充実	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (22 ~ 26 年度)		法令根拠	社会福祉法107条						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 H12年社会福祉法の改正により市町村が計画を策定することが規定された総合計画・基本計画の中で地域福祉推進に関する方針を具体化する計画として位置づけられている。児童計画・障害者計画を包含した計画でありH22年度からの5か年計画である。さらにH27年度からの5か年計画の地域福祉計画をH25・26年度において策定。市民と行政が協働し地域において助け合う地域福祉の推進を目的としている。この計画に基づき地域福祉の推進を図り地域福祉施策推進会議において計画の進捗、目標の達成状況点検・評価を行う。			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 消耗品費 21 報償費 食料費 29 委託費 660 印刷製本費 400 普通旅費 計 1,110						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	26年度活動内容 地域福祉施策推進会議(計画の進捗状況)の開催 第3次地域福祉計画の策定 27年度活動予定 地域福祉施策推進会議(計画の進捗状況)の開催	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 公募委員数 人 イ 施策推進会議の開催 回
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民・計画	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 人口 人
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	計画を市民と行政が協働し策定、実施し進行管理することにより地域福祉を推進する。	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 地域福祉を推進していると思う市民割合 %
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	市民だれもが住みやすいまちとなる	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 住みやすいまちと感じる市民の割合 %

年間トータルコスト		単位	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算・実績)	26年度 (決算見込・実績)	27年度 (予算・目標)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
事業費	財源内訳	千円							
	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円	39	2,805	3,895	161	161	161	
	事業費計(A)	千円	39	2,805	3,895	161	161	161	0
人件費	正規職員従事人数	人	12	14	14	14	14	14	
	延べ業務時間	時間	45	240	672	45	45	45	
	人件費計(B)	千円	205	1,092	3,058	205	205	205	0
	(A)+(B)	千円	244	3,897	6,953	366	366	366	0
活動指標	ア	人	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
	イ	回	1.0	6.0	3.0	1.0	1.0	1.0	
対象指標	ア	人	73,211.0	72,963.0	72,895.0	72,895.0	72,895.0	72,895.0	
成果指標	ア	%	30.1	27.1	32.4	32.5	33.0	33.5	
上位成果指標	ア	%	69.7	70.0	69.4	70.0	70.5	71.0	

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	H12年6月社会福祉法の改正により市町村が計画を策定することが規定された。市総合計画の中で地域福祉推進に関する方針を具現化する計画として位置づけられている。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	景気や雇用などの社会環境の変化に伴い生活不安や悩みを持つ人も増え、ひきこもり、高齢者の孤立、虐待などが社会問題となり、福祉に対するニーズも多様化、複雑化してきている。地域の繋がりネットワークづくりが必須。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	問題の事後対応に追われている。早期発見するために身近な場所で相談できる場が必要である。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	平成22年度からの第2次地域福祉計画の施策推進会議を開催した。また平成25年度には第3次地域福祉計画の策定委員を委嘱(公募委員1名を含む。)し策定委員会をH26年度も開催した。作業部会を立ち上げ地域福祉課題について検討を行い、課題を解決するため目標を定め計画を策定した。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	計画策定については、委託業者に丸投げするのではなく自力での策定を心がけた。

事務事業名	地域福祉計画策定・進行管理事業	所属部	保健福祉部	所属課	福祉総合相談課
-------	-----------------	-----	-------	-----	---------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 南アルプス市地域福祉計画は、上位計画である南アルプス市総合計画・基本計画の地域福祉推進に関する方針等を具体化する計画であるので結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 市地域福祉計画は社会福祉法に基づく計画であり、福祉全般を網羅した総合的な計画として位置づけられている。これらの策定及び進捗状況の評価は市の役割である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 地域の福祉の状況を5年ごとに見直し、今必要な、これから課題となることへの対策を盛り込み、その事業を実践していくことは、継続していくべきことである。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 計画の内容、その計画に基づく事業内容を市民に周知することは成果の向上に結びつく。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 関連する計画はそれぞれ法的根拠が異なるので、計画の統合はできないが、関係計画との連携・整合性は取れている内容となっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 地域福祉施策推進会議において毎年施策の進捗状況を <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 地域福祉の充実や地域福祉をめぐる課題などの解決等地域福祉の推進を行うことが困難となるため休止・廃止はできない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 第3次計画策定費用については、すべてを委託せず自前で作成しており費用は最小限である。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 最低限の職員で事務をしているため、削減できない
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 地域福祉計画は市民全体を対象としているので、公平公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	第2次地域福祉計画施策推進会議をおこなっているが、開催時期を年度当初に行うほうが効果的である。 第3次地域福祉計画策定において、保健福祉部内でワーキング部会を立ち上げ、また市民も入った作業部会でき、行政・市民・市内の事業所等それぞれの立場での意見交換等を行い、手づくりの地域福祉計画になってきている。25年度においては、地域の福祉課題の拾い出しが行われ、今後26年度において今後の対応や目標などが検討され、計画が策定される予定である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 第3次地域福祉計画策定に過程において、本市の現状をそれぞれの立場で知り、住み慣れた地域でだれもが、幸せな暮らしを送れるようになる為の計画を策定していく。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ① 作業部会を中心に今後5年間で取り組めることを盛り込んで、実践できる計画策定をすすめる。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑪</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑪	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑪																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					